

# 資料2-3

平成16年12月7日  
(社)日本鉄鋼連盟

## 鉄鋼業の総量規制対策について

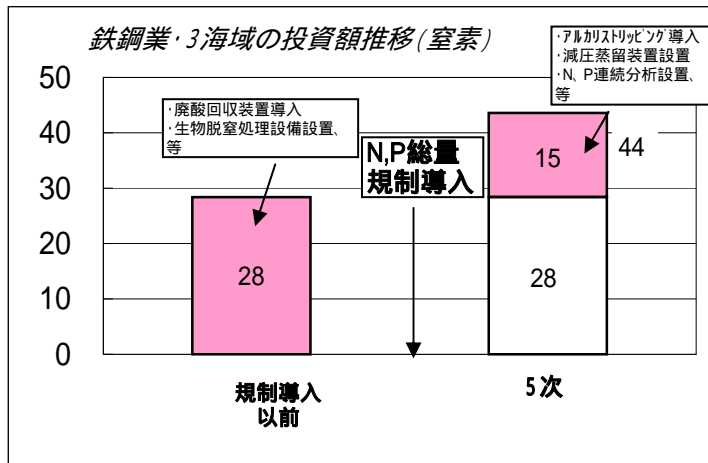
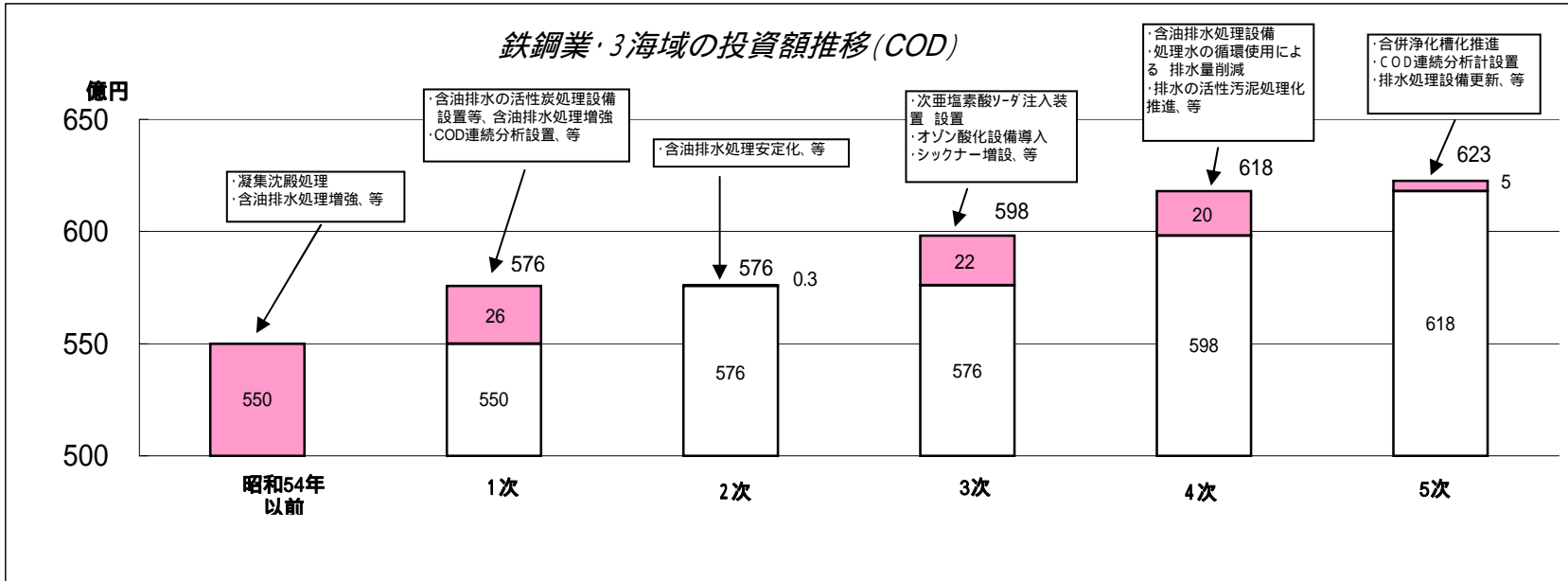
1. 昭和54年以前に、コークス安水処理施設、含油処理施設等への投資は実施済み。  
(概算 東京湾:150億円、伊勢湾:50億円、瀬戸内海:350億円)

## 2. 3海域の主な対策内容および投資額について

	物質	東京湾(4事業所)		伊勢湾(5事業所)		瀬戸内海(12事業所)		3海域計
		主な対策内容	投資額 (百万円)	主な対策内容	投資額 (百万円)	主な対策内容	投資額 (百万円)	投資額 (百万円)
昭和54年以前	COD	・凝集沈殿処理 ・アンモニアストリッピング(窒素対策) ・活性汚泥処理 ・含油排水処理増強、他	15,000	・凝集沈殿処理 ・アンモニアストリッピング(窒素対策) ・活性汚泥処理 ・含油排水処理増強、他	5,000	・凝集沈殿処理 ・アンモニアストリッピング(窒素対策) ・活性汚泥処理 ・含油排水処理増強、他	35,000	55,000
第1次(昭和54年度~59年度)	COD	・含油排水処理増強、他	116	・COD連続分析計設置、他	9	・COD連続分析計設置 ・含油排水活性炭処理設備設置 ・含油排水のカスケード利用化、他	2,443	2,568
第2次(昭和60年度~平成元年度)	COD	・含油排水処理増強、他	29		0		0	29
第3次(平成2年度~6年度)	COD	・分析値テレメータ送信、他	6	・次亜塩素酸ソーダ注入装置設置 ・オゾン酸化設備導入、他	1,956	・凝集沈殿設備増設 ・活性汚泥設備の補修、他	250	2,212
第4次(平成7年度~11年度)	COD	・含油排水処理設備、他	340		0	・処理水の循環使用による排水量削減 ・排水の活性汚泥処理化推進、他	1,647	1,987
	窒素	・廃酸回収装置導入、他	1,568	・生物脱窒処理設備、他	130	・生物脱窒処理設備設置、他	1,143	2,841
第5次(平成12年度~16年度)	COD	・合併浄化槽化推進、他	436	・COD連続分析計設置、他	10	・排水処理設備の更新、他	20	466
	窒素	・アルカリストリッピング導入 ・減圧蒸留装置設置 ・N、P連続分析計設置、他	958	・N、P連続分析計設置、他	148	・アルカリストリッピング導入 ・N、P連続分析計設置、他	410	1,516
第1次~第5次合計額	COD		927		1,975		4,360	7,262
	窒素		2,526		278		1,553	4,357
昭和54年以前~第5次総合計			18,453		7,253		40,913	66,619

## 3. 鉄鋼業における汚濁負荷量【環境省データ/日】

		東京湾	伊勢湾	瀬戸内海
第1次(昭和54年)	COD	1.3	1.8	20.6
第2次(昭和59年)	COD	1.6	1.9	14.6
第3次(平成元年)	COD	1.6	2	13.4
第4次(平成6年)	COD	1.4	1.6	11.6
第5次(平成11年)	COD	1.5	1.7	12.4
	窒素	9.2	1.2	40.6



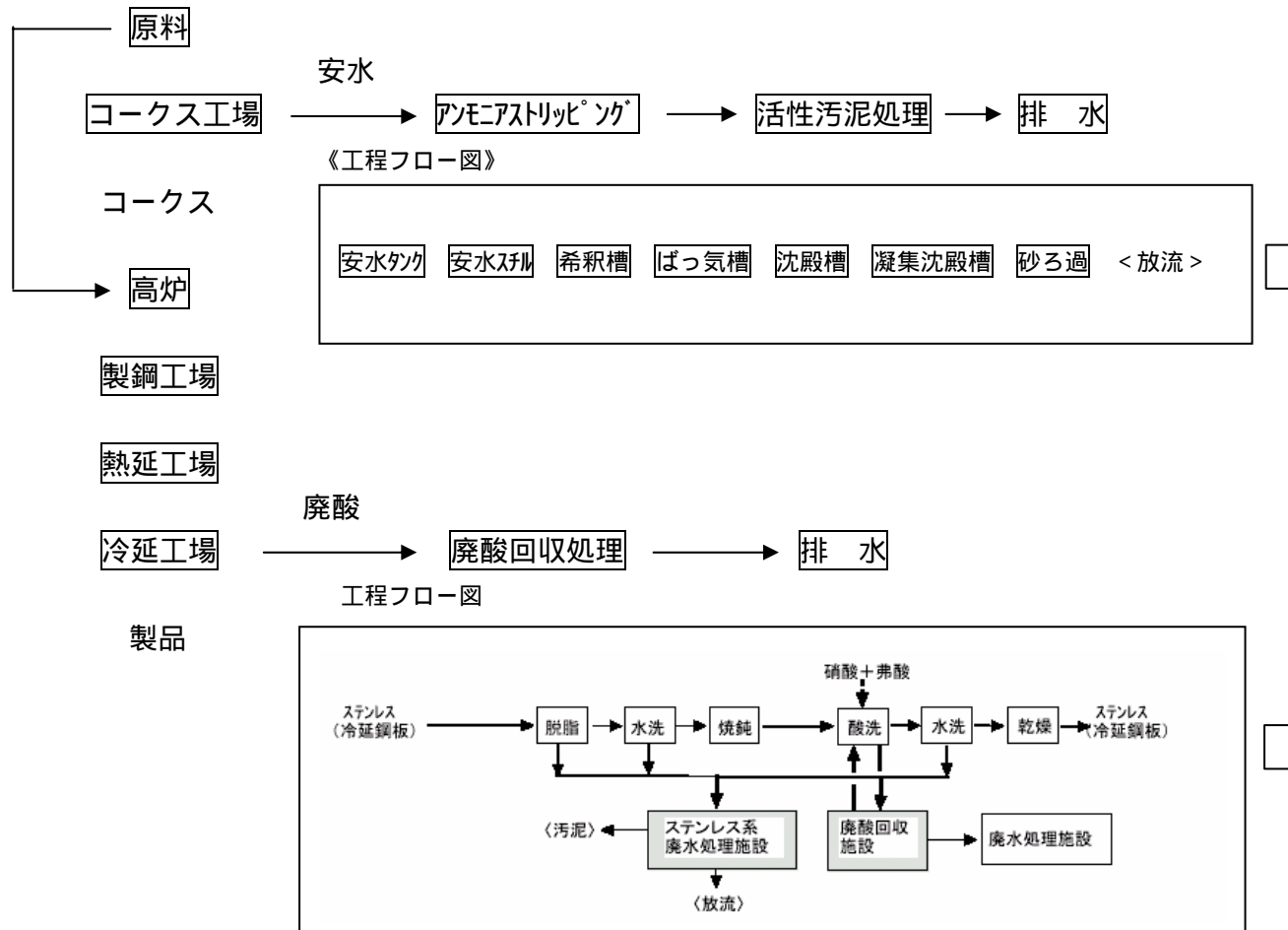
(注) 1. COD及び窒素の白抜きは前期までの累計額

【参考】

【第4回総量規制専門委員会（ヒアリング資料）】

鉄鋼産業における水質総量規制への対応について

平成16年10月4日  
（社）日本鉄鋼連盟



：COD対策、：窒素対策  
注) 事業所毎の追加条件により適宜これらの対策を導入

- 【代表的対策】
- 用水カスケード使用
  - アンモニアストリッピング  
(蒸気ストリッピング、アルカリストリッピング)
  - 活性汚泥処理
  - 安水処理施設オゾン処理
  - 活性炭吸着

- 【代表的対策】
- 廃酸回収(イオン交換樹脂)
  - ”(膜利用)
  - 生物処理